

あづか



第1回定例会

26年度予算 3年連続の積極予算 >>> P.2

主な質疑 公共施設の耐震補強計画は >>> P.6

一般質問 4人が町政を問う >>> P.8

委員会報告 光ボックスで行政情報配信 >>> P.12

台風・猿害等課題山積 >>> P.13

まちの元気 ゆうあんビレッジ >>> P.14

茶初市に向けて新茶の手摘み

4月23日 久しぶりの快晴下、和東茶手揉技術保存会の会員ら約30名が心を込めて摘み取った新芽はその日のうちに手揉みされ、最高値kg当たり14万円で取引されました。

平成
26年度

予算総額 49億4368万円

一般会計31億6400万円 3年連続の積極型予算

門前橋整備事業など

土木費に4億1612万円

平成26年度の一般会計当初予算は、門前橋の架け替え事業や町道山口線の拡幅改良工事等の継続事業、少子化対策の0歳児保育や子ども・子育て支援新制度の体制づくり、茶源郷和束の歴史や文化を守り活用する景観計画策定事業や行政情報配信システムの充実など多分野にわたる積極型予算となりました。しかし、大型事業の防災無線整備事業が完了したことにより予算総額は昨年度より4.1%減になりました。

平成26年第1回定例会は、3月10日から26日までの17日間開会しました。定例会では、平成26年度一般会計の他、6特別会計の当初予算や犯罪被害者等支援条例の制定、過疎地域自立促進市町村計画の変更など町長提出の24議案と議員発議の3議案を審議しました。

平成26年度予算は、一般会計31億6400万円、6特別会計の合計17億7968万円、総額49億4368万円です。対前年度1.4%減の予算となりました。(表1)

一般会計の歳入の内訳を見ますと、町民税や固定資産税などの町税収入は3億8578万円です。予算全体に占める割合は12.2%です。また、町税収入に分担金や使用料、諸収入などの収入を合

わせた自主財源の合計は、5億7183万円です。歳入全体の18.1%となり、残りの81.9%を地方交付税や国・府支出金、町債などに依存する予算となっています。(グラフI)

町の借金にあたる町債は、前年度より2億9330万円減の4億9420万円を発行予定で、主なものは臨時財政対策債の2億5960万円や道路橋りょう債の2億1900万円などです。歳出は、社会保障費の増加に伴い民生費が7億1975万円です。予算全体の22.7%、続いて公債費が18.6%、衛生費が15.3%となりました。(グラフII)

予算審査に当たっては、全議員による予算特別委員会を設置して3月12日・13日の2日間審査しました。

平成26年度 会計別予算額 (表1)

会計名	予算額	対前年比	
一般会計	31億6400万円	△4.1%	
特別会計	湯船財産区	738万円	△0.5%
	国民健康保険	7億1810万円	3.4%
	国保診療所	8930万円	1.6%
	簡易水道事業	1億4870万円	3.2%
	下水道事業	1億9080万円	5.6%
	介護保険	5億6610万円	4.2%
	後期高齢者医療	5930万円	7.9%
	計	17億7968万円	3.9%
合計	49億4368万円	△1.4%	

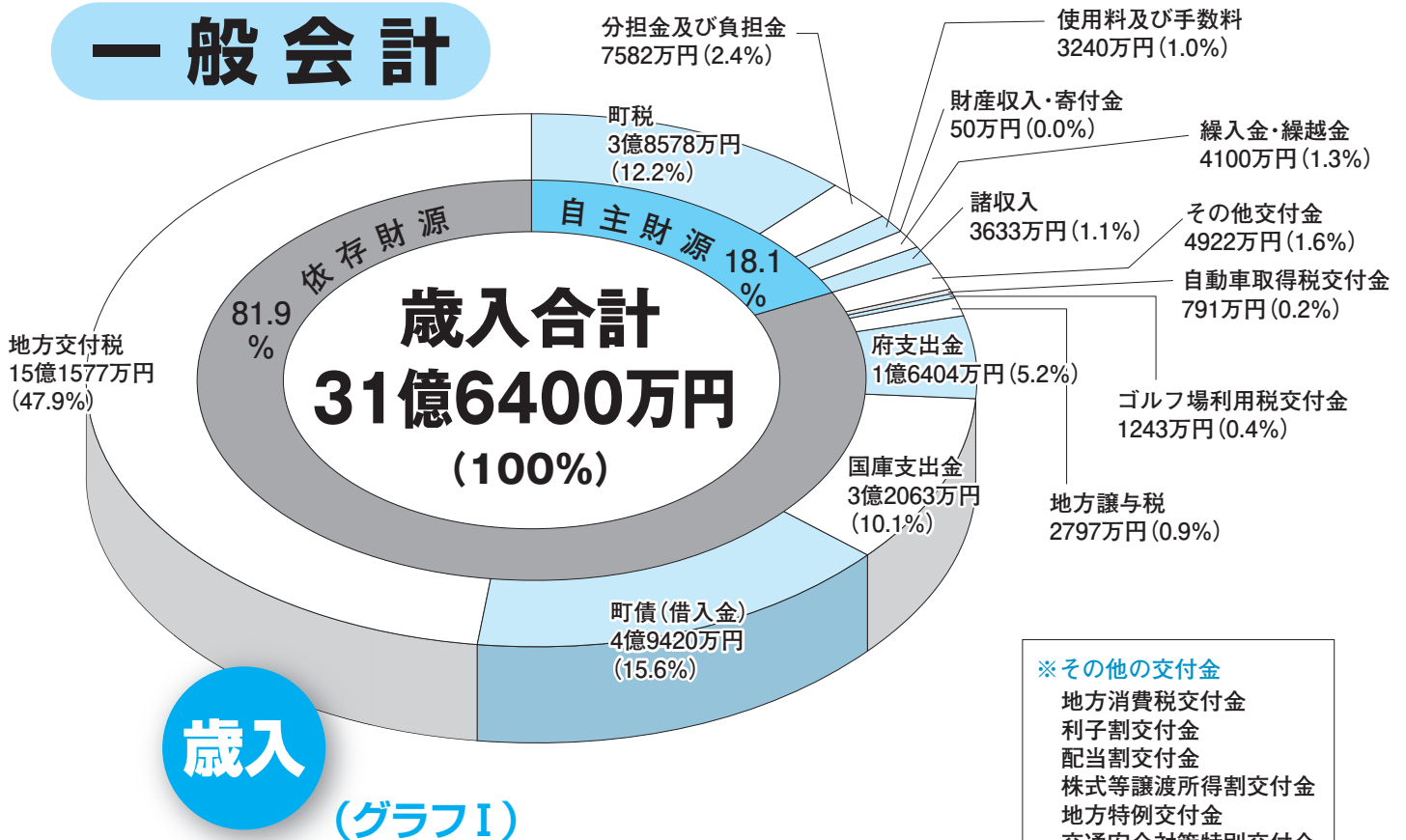
※ △はマイナス

審査では、質疑の後、岡本委員が一般会計と国民健康保険、簡易水道事業、下水道事業、介護保険、後期高齢者医療の5つの特別会計に反対討論を、また、竹内委員が一般会計に、岩崎委員が国民健康保険に、吉田委員が簡易水道事業と下水道事業に、小西委員が介護保険に、畑委員が後期高齢者医療のそれぞれの特別会計に賛成の討論を行いました。

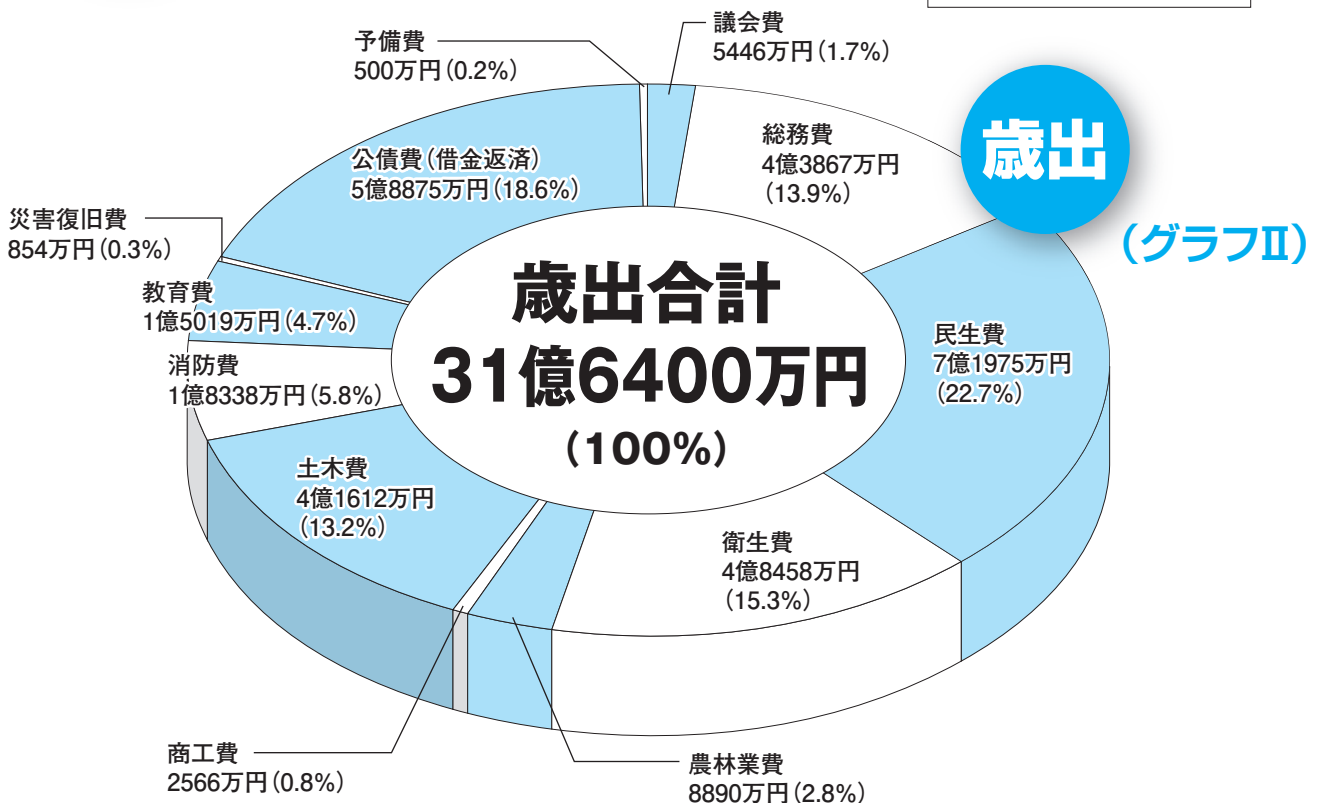
採決の結果、全ての予算を原案どおり可決しました。

道路・橋の安全や福祉・医療の充実 地域の活力を重点に

一般会計



※その他の交付金
 地方消費税交付金
 利子割交付金
 配当割交付金
 株式等譲渡所得割交付金
 地方特例交付金
 交通安全対策特別交付金



大切な予算・税金の使いみちは

一般会計

まちの第4次総合計画に定める6つの協働プログラムに分けて、
主な予算額を説明します。

和東を担う次世代の人づくり協働に

子育て支援

保育所・子育て支援センター運営	1億1261万円
児童手当給付事業	4700万円
福祉医療（母子）事業	1335万円
放課後児童対策事業	643万円
子育て世帯臨時特例給付金	442万円



0歳児ベッド

学校教育・社会教育スポーツ・歴史文化

相楽東部広域連合負担金	1億5018万円
-------------	----------

交流

活性化対策事業	338万円
---------	-------

住民が支えあう安心と信頼の協働に

人権尊重

人権ふれあいセンター運営事業	2820万円
----------------	--------

保健・医療

山城病院組合負担金	3293万円
成人健康診査・予防接種等健康管理事業	1887万円

高齢者・障がい者支援

障害者自立支援給付事業	8805万円
後期高齢者療養給付事業	6104万円
居宅支援事業	1635万円

地域福祉

臨時福祉給付金給付事業	1775万円
-------------	--------

安全で快適な暮らしの実感できる協働に

道路

門前橋整備事業	2億1300万円
町道拡幅改良事業	1億936万円
橋りょう長寿命化修繕事業	3012万円

公共交通

路線バス対策・町営バス運行事業	1587万円
-----------------	--------

住宅

共同浴場運営・住宅管理事業	2770万円
---------------	--------

自然を守りともに暮らす協働に

防災

相楽中部消防組合	1億4946万円
災害対策備品・備蓄品	542万円
防災同報無線管理事業	259万円

上下水道

合併処理浄化槽設置整備事業	403万円
---------------	-------

環境・循環資源エネルギー

じん芥・し尿処理費	2億124万円
-----------	---------

和東のブランドを高める協働に

農林業

共同製茶等省力化推進事業	487万円
出品茶推進委員会補助	200万円

商工業

地域再生事業	738万円
--------	-------

交流産業

マウンテンバイク整備事業	462万円
--------------	-------



住民・事業者・行政が共に進める協働に

住民参画のまちづくり

和東町の景観を活かしたまちづくり推進事業	162万円
----------------------	-------

情報公開

茶源郷行政情報配信システム整備事業	1092万円
-------------------	--------

行財政・地域経営

電子計算費（情報ネットワーク）	3292万円
-----------------	--------

広域行政

相楽東部広域連合・京都地方税機構 ・相楽郡広域事務組合各負担金	2570万円
------------------------------------	--------

平成25年度補正予算

【一般会計 1715万円減額】

主なもの

農業者等復興支援事業費補助金	928万円
財政調整基金積立金	3617万円
相楽中部消防組合負担金（消防救急無線デジタル化整備事業）	△7140万円
農業用施設災害復旧工事費	230万円
農地災害復旧工事費	170万円

【特別会計】

国民健康保険特別会計 2558万円追加

主なもの

一般被保険者療養給付費 340万円

簡易水道事業特別会計 400万円追加

主なもの

府道木津信楽線本道替工事に伴う
水道管敷設替工事 378万円

介護保険特別会計 309万円追加
施設介護サービス給付費負担金 290万円
※△減額

第1回定例会で決まった主なこと

条例改正等

和東町犯罪被害者等支援条例

犯罪による被害者や家族、遺族（犯罪被害者等）の支援に関し、町及び住民等の責務を明らかにするとともに被害回復や軽減に向けた基本的事項を定めるもの。

連携を図るもの。

和東町防災行政無線施設の設置及び管理に関する条例

平成24・25年度の2か年で設置したデジタル同報系の防災行政無線施設を本年4月1日から運用開始するためのもの。

和東町職員の再任用に関する条例

定年退職者のうち、働く意欲と能力、経験を活用し、併せて定年退職後の雇用と年金制度の

和東町消防団員等公務災害補償条例の一部改正

非常勤消防団員の損害補償基準を定める政令の一部改正により関連条例を一部改正。

和東町非常勤消防団員に係る退職報奨金の支給に関する条例の一部改正

消防団員等公務災害補償等責任共済等に関する法律施行令の一部改正により関連条例の一部を改正。

和東町過疎地域自立促進市町村計画の変更

新たな情報化施策である茶源郷行政情報配信システム整備を追加するための計画変更。

和東町防災行政無線（デジタル同報系）整備工事請負契約の変更

外付けアンテナ設置数と音声告知放送受信機撤去数の減による契約金額の減額に伴う契約変更。（△1261万5750円）

町道山口線拡幅改良工事1工区請負契約の締結請負契約金額が5千万円を超えたため地方自治法に基づき議会の議決を求める。
（契約金額…5842万8000円）



町道山口線予定地

主な質疑

(平成26年度予算特別委員会から)

問

公共施設の耐震補強計画は。

答

産業担当理事

平成24年、25年度は住民の安心・安全を優先し防災行政無線の工事に着手した。27年度をめどに防災機能の一番中心な建物である庁舎の耐震化を進めていきたい。

問

消費税の引き上げによる臨時福祉給付金の対象者への手続きは。

答

福祉課長

対象者把握については、平成26年の住民税課税状況により判断することになっているので今後、税務担当課とも連携を図りながら漏れ落ちのないよう進めていく。

問

マウンテンバイク整備事業に462万円計上されているが、事業の目的と計画は。

答

農村振興課長

目的は、湯船地域の森林を活用することや交流人口につなげることであり、経済効果も期待できると考えている。計画については25年度で3・4km、26年度の整備分も含めた計4kmコースで国内認定コースの設定を考えている。

問

観光事業費委託料として700万円が計上されているが事業の内容は。

答

地域力推進課長

国の緊急雇用制度を活用し活性化センターへ委託している。観光統計に関する調査や消費額などデータからの課題を見つけ、今後の施策に役立てていきたい。

問

有害駆除での電気柵と金網について26年度の予定は。

答

農村振興課長

23年度は13km、24年度は17km、25年度は20kmの実施となりました。26年度については、20km位の予算要求をしている。

問

工事請負費2億8540万円の内訳と計画予定は。

答

建設事業課長

門前橋の上部工施工を予定しており、5m幅と歩道部2・5mで橋の長さは39mの計画で2億1000万円の工事費です。他には、橋梁の長寿命化に対して2橋の維持修繕を計画している。

問

消費税の引き上げに伴い、子ども・子育て支援の新制度についても・子育て支援の新制度について、アンケート調査をされたが平成26年度の計画は。

答

福祉課長

子ども・子育て会議の条例を設定したので、現在その会議により平成27年度から5年間の計画を策定中です。平成26年度は、ニーズ調査の結果に基づき具体的な行動計画の策定を進める。

問

茶源郷ポイント事業、休日総合がん検診無料化の実施での成果と今年度の計画は。

答

福祉課長

胃がん検診で40名、大腸がん検

診で162名、乳がん検診で45名、子宮がん検診で28名それぞれに受診率アップの結果となりました。今年度も、休日がん検診と若年層の受診率が伸びるよう努力していきます。



茶源郷ポイント

問

茶源郷まつりで使用する町内の厨房について、現在は社協とふれあい工房のみが使用可能となっているが、老人福祉センターや人権ふれあいセンター、体験交流センターでも使用できないか。

答

総務課長

社協とふれあい工房以外の厨房は老朽化していることもあり、使用できる2ヶ所でスムーズに使っていただくよう調整していきます。

意見書

消費税増税の中止を求める意見書

提出者

〔否決〕 岡本 正意議員
賛成者 1人
反対者 8人

介護保険制度の改悪に反対する意見書

提出者

〔否決〕 岡本 正意議員
賛成者 1人
反対者 8人

原発の再稼働に反対する意見書

提出者

〔否決〕 岡本 正意議員
賛成者 1人
反対者 8人

人事関係

副町長に

奥田 右氏すすむを選任

奥田 右氏

昭和29年2月3日生まれ（60歳）を地方自治法の規定により副町長に選任することに同意した。

任期は、平成26年4月1日から4年間。

経歴…和束町役場建設事業課長・総務課長・産業担当理事等を歴任。

人権擁護委員に

渡邊 隆一郎氏を推薦

人権擁護委員法の規定により候補者としての推薦に同意した。

各議員の賛否

平成26年第1回定例会（3月）に、町長から提案された議案のうち賛否がわかれたもの。

審議結果	会議区分	議案名	議員名									
			岡田泰正	吉田哲也	畑 武志	前出 茂	岡本正意	竹内きみ代	岩崎宗雄	小西 啓	山口勝己	籠島孝幸
可決	委	平成26年度一般会計予算	-	○	○	○	×	○	○	○	退	○
可決	委	平成26年度国民健康保険特別会計予算	-	○	○	○	×	○	○	○	退	○
可決	委	平成26年度簡易水道事業特別会計予算	-	○	○	○	×	○	○	○	退	○
可決	委	平成26年度下水道事業特別会計予算	-	○	○	○	×	○	○	○	退	○
可決	委	平成26年度介護保険事業特別会計予算	-	○	○	○	×	○	○	○	退	○
可決	委	平成26年度後期高齢者医療特別会計予算	-	○	○	○	×	○	○	○	退	○
可決	本	過疎地域自立促進市町村計画の変更	○	○	○	○	×	○	○	○	○	-
可決	本	防災行政無線整備工事請負契約の変更	○	○	○	○	○	○	○	○	退	-
可決	本	副町長の選任	○	○	○	○	○	○	○	○	退	-

※会議区分 本=本会議・委=予算特別委員会 ○は賛成 ・×は反対 ・退は退席

籠島孝幸議長は本会議の採決に、岡田泰正予算特別委員長は委員会の採決に加わらない。

町政を問う

4人が一般質問

問

「宇治茶きらめき街道」に向けた活性化の具体策は

答

和東町の文化、歴史、景観全てを発信していく



岩崎 宗雄 議員

て安心安全が大事である。

問

胃がんのリスクを減らすために「ピロリ菌」検診取り組みと受診に対する助成制度の設置を

答 福祉課長

京都府が対策推進計画の中でピロリ菌とその他のがんの予防法について科学的根拠に関する国の見解を踏まえ、積極的に対応していく。本町も国・府の動向を見据え、福知山市や近隣市町村の状況を踏まえ、医師会と協議し、検討を図っていく。

答

農村振興課長

でも「手揉みや茶香服」の体験できる施設の整備を手揉みについては手揉み茶保存会より技術の伝承をいただき、グリーンティ和東で受け入れ体制を整えており、今後進化させていく。茶香服については茶業団体等に技術伝承をして多くの人材があり、どこでも体験できる用意は整っている。

問

全国、関西茶品評会に出品して上位入賞のできる体制づくりを

答 農村振興課長

出品者を対象に茶業研究所等にご協力いただき、研修会を開催している。出品茶への肥料管理、整枝、適期適採の助言、製造支援等、普及センター等の協力を全面的にいただいている。出品していただく人づくりに今後取り組んでいく必要がある。

問

「きらめき街道」プロジェクト推進事業に対応するため、まちの活性化の取り組みは。

答 町長

木津川右岸の持っている豊かさ、産業、歴史それぞれのところが一つになって地域力を発揮していく。

問

町制施行60周年のあゆみを問う。

答 町長

昭和28年の水害で1111名の方が亡くなられ、災害復興・復旧に取り組み、29

年に3村が、31年に湯船が編入合併。その後、学校の建設・改築等の整備、茶工場共同化、庁舎や施設整備、簡易水道、福祉センター、体育館、住宅等の建設。その後、財団法人活性化センターの設立。またし尿、ゴミ等は広域行政で取り組み、積極的な基礎となるまちづくりの推進の時期である。

問

今後、和東町30年のまちの展望は

答 町長

茶源郷和東は住民の皆さま

問

犬打峠トンネル化の推進へ加速する手段は

答 町長

宇治茶の主産地を縦断する宇治木屋線、それぞれの地域力を生かせるきらめき、木津川右岸全体の地域力、すばらしさを訴えていく。産業の振興、そして経済の引き上げ、本町にとつ



トンネル未来予想図

問

年間を通じていつでも誰

問

町制60周年記念
女性議会の開催を

答

検討を進めていきたい

問

記念女性議会を開催することにより、女性が輝き地域活動の推進力になるのでは。

答 町長

重く受け止め、努力して行きたい。

問

記念式典において、自治功労者表彰に加えて功績表彰や善行表彰の創設を。

答 産業担当理事兼総務課長

表彰は必要だと考えている。感謝状も含めて検討して行きたい。

高齢者が安心して暮らせるまちづくりを

問

和東町第6次高齢者保健福祉計画の最終年度を迎えるが進捗状況は。

答 福祉課長

計画期間の3分の2を過ぎようとしているが概ね計画に沿った事業に取り組んでいる。但し、介護保険事業については計画値を上回る状況となっている。

問

第7次高齢者保健福祉計画の策定方針と今後のスケジュールは。

答 福祉課長

団塊の世代が75才以上になる2025年に向け地域



竹内きみ代 議員

として、お茶づくり、野菜づくり、林業・間伐などを通し協働してつくりあげて行きたい。

認知症の早期発見ができる体制づくりを

問

認知症サポーターの養成講座の開催を。

答 町長

今年度は養成講座を開催し、新たなサポーターを増やしていく。職員研修の一環としての位置づけも検討している。

問

認知症カフェ・居場所づくりの考えは。

答 福祉課長

昨年は相楽医師会において、園区で実施し、参加者の評価は高かった。今回のカフェを参考にして、ふれあいサロン等の活用や本町の特性にふさわしい方法で進めていきたい。

問

認知症かかりつけ医の対応力向上の研修を

受けた医師を府のホームページで公表しているが。

答 福祉課長

町のネットワーク会議を定期的で開催している。医師の受講については協力依頼をしていく。

総合的な保健福祉センター設置の考えは

問

過疎計画事業にも掲載されている保健福祉センターの設置計画は。

答 町長

喫緊の課題であり、文化活動や健康管理の拠点と併せて医療センターにもなるようなことを目標に全職員で取り組んでいく。



評価の高い認知症カフェ

問

交流人口を増すため
何を観光資源に

答

茶畑景観や
伝統的な建造物等を活用



畑 武志 議員

問

交流人口が増になると、メリット・デメリット、またそれらに対する対応は、どのように考えておられるのか。

答 町長

メリットとしては、観光化されることで並走し、整備が進むという期待もある。具体例を挙げると、宇治木屋線の整備が京都府が「きらめき街道」というプロジェクトに着手いただけなことなどがあげられる。こうした意味において、観光という観点から和東町のまちづくりの原動力にな

ると位置づけ、現在進めているところである。

デメリットとしては、観光客が農地に無断で入られたりすることに農家は、非常に不安視している。

北部幹線、南部幹線の整備は

問

北部、南部幹線は以前に長期的な事業計画を立て、進められていたはずだが、そのほとんどが事業途中で、現在止まっているように見える。経過を説明してほしい。

答

町長

計画策定当時は、有利な起債活用ということで、「グリーンロード21」という町内幹線道路整備計画を策定し、一部事業化してきしたが、府道とのアクセスや府道整備の進捗などから現在事業が中断している経過もある。

また、南部幹線については、一部開通したが、用地等の問題もあり、事業が進んでいないところもあり、今後地権者の協力を待つて進めていきたい。また、橋の架け替え工事は、震災などの関係で構造

部の長寿命化対策として実施し、補助金の受けられる門前橋、祝橋から着手しているとご理解願いたい。

答

産業担当理事

北部幹線・南部幹線道路については「木津信楽線」が寸断された場合の補完道路として大変重要であるため、財政の許す限り計画を進めていきたい。

木津信楽線と特別養護老人ホームまでのアクセス道路の建設は

問

特別養護老人

ホームわらく建設時に平行して建設を予定され、該当用地地権者にまだ、事業説明されたが、その後の事務が進んでいないのはなぜか。

答

町長

道路法線の決定や現地測量は全て終わっていると認識しているが、現道（木津信楽線）との交差点協議など事務的な問題が残っている。町としても、地元区、用地地権者と今後も協議を進め、今後は事務的に積み上げたうえで、地元の方を始め、用地地権者のご理解・ご協力を得たいと考えている。



一部開通している南部幹線

問

防災の拠点 避難所の機能強化の方向性は

答

公民館ごとに食糧等を備蓄し、発電機を整備

問

公共施設の耐震診断と強化方向は

答 町長

防災無線の完成をうけ、今後は公共施設の耐震化に取り組むたい

答 総務課長

旧耐震基準の公共施設の耐震診断は終わっており、庁舎、人権センター、福祉センター、診療所は補強工事が必要。

問

食糧や水等の備蓄、発電機の整備の取組み状況は

答 総務課長

10%前後の食糧を備蓄し、公民館に各区の人口の

発電機を設置したい。

問

小学校など指定避難所での整備は

答 総務課長

各区での整備を優先し、指定避難所での整備は今後検討する。発電機の設置は予算も多額になるので、太陽光発電も含め検討したい。

問

公共施設でのトイレの洋式化を

答 総務課長

全て和式の庁舎は耐震化と合わせ検討したい。

問

被災支援対象から外れるケースへの支援検討を

答 総務課長

行政が出来る事があればケースバイケースで考えた

消費税増税から暮らし守る対策を

問

特定健診や人間ドック費用の軽減、紙オムツ代補助の拡充など、以前カットした施策の回復は最低限すべき。

答 町長

現段階でも回復は慎重に

と考えている。

問

暮らしの実態は厳しく増税には何の道理もない。政府の判断は正しいと思うのか。今からでも増税中止の要請を。

答 町長

正しいか正しくないかの高度な政治判断は非常に難しい。

親子の遊び場、公園の整備を

問

町内外の親子、子育て世代が集える公園整備を

答 町長

既存の公園を子どもから高齢者が憩える場として一層の環境整備を図りたい。

問

運動公園の遊具などの必要な補修やリニューアルを年度内に改修を完成させる予定。

答 町長

旧東保育園の有効活用を

答 町長

耐震性や駐車場の確保などの課題があり活用方針は定まっていない。



補修前の運動公園の遊具

総務厚生常任委員会

光ボックスで 行政情報配信

委員長 竹内きみ代

2月27日に開催した委員会で堀町長は、2月末で森脇副町長が退任されるとの報告があり、副町長から退任の挨拶を受けました。

この日は、平成25年度の予算執行状況、平成26年度予算概要について事務調査を行いました。

総務課では、茶源郷行政情報配信システム整備事業を本年1月から新規事業として取組まれ、予算額は3264万円、事業内容はインターネット環境の整った家庭に町の情報を見られるように、セットアップした光ボックスを給付するものです。情報配信の内容は、当面は町のホームページや公式フェイスブック、お知らせ等で、本格稼働に向けてアプリケーションの開発を行う予定とのことで

した。また、奈良交通バス、和東木津線の赤字補填の費用が平成24年度の補填額と運賃補助を加えた金額とほぼ同額の1340万円程度になる見通しであり、バス利用者の減少で運賃の減収に加え、国の補助を受けられない補助対象外の便数が増えていることが危惧されていました。福祉課では、新規事業として、心と体のセルフチェックシステム事業を昨年11月からスタートさせました。本町のホームページ上に健康チェックのコーナーを設けたもので、パソコンや携帯電話

から簡単に心と体の健康状態を確認出来るものです。ストレスや落ち込み度、メタボの程度、認知症の発見などが出来るというものです。3ヶ月で延べ6000人以上の方が利用されています。

委員からは、コミュニケーションバスの計画や路線バスの赤字補填の費用、ガラスハウスの運営状況、緑泉コースの整備計画、防災無線の整備状況など多くの意見が出されました。また、当日は、6ヶ月児から受け入れを計画している和東保育園の施設の改修状況を視察しました。



各家庭に給付される光ボックス

一部事務組合・広域連合議会報告

相楽広域事務組合議会

大谷処理場長寿命化の具体化を検討

2月17日定例会が開かれ、大谷処理場、消費生活センター、休日応急診療所の運営経費など平成26年度一般会計予算、ふるさと市町村圏振興事業特別会計予算等6議案が全会一致で可決されました。

平成26年度予算 4億9270万円
和東町負担分 4231万円

国民健康保険山城病院組合議会

地域包括ケア病棟に入院科新設

2月20日定例会が開かれ、地域医療支援病院の資格取得等取組方針を示し、地域包括ケア病棟に入院科新設等の報告が行われた。病院・老健施設など平成26年度予算等5議案が全会一致で可決されました。

平成26年度予算 73億503万円
和東町負担分 3733万円

相楽中部消防組合議会

和東出張所高規格救急自動車更新整備

2月18日定例会が開かれ、和東出張所高規格救急自動車及び本部警察査察車の更新整備、山城出張所・東部出張所の庁舎耐震診断等平成26年度予算、条例の一部改正等4議案が全会一致で可決されました。

平成26年度予算 13億1400万円
和東町負担分 1億4924万円

産業常任委員会

台風・大雪・サル害等々 課題山積

委員長 岡本正意

2月26日に開催した委員会では、平成25年度事業の進捗状況と平成26年度予算について調査し、台風被害の復旧状況や門前橋工事の現地視察を行いました。

はじめに平成25年度事業の進捗状況について農村振興課、建設事業課から説明をうけ審議しました。

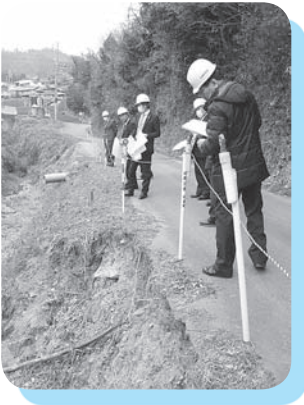
委員からは、台風18号被害の復旧状況や大雪の影響、現在の煎茶と碾茶の生産割合の状況、缶茶のペットボトル化、サルの大規模捕獲の実施状況、予定価格より大幅に低い入札結果についてなどの質問が出されました。

担当課からは「災害復旧は出来るだけ早く進めたい」「大雪で茶園が押さえつけられ、肥料による対策が必要なケースもあった」「茶生産の割合は、煎茶、碾茶が半々

で、碾茶の生産量は日本一になっている」「缶茶のペットボトル化は消費期限の問題もあり検討中」「サルの数はあまり減っていない実態。餌場を作らない事が大事」

「低価格落札については測量関係等の入札は最低価格の設定がなく問題はない」等の答弁がありました。

新年度予算の概要説明があり、当初予算では新規事業はなく、継続事業中心の内容でした。委員からは、有害鳥獣対策の推進、草刈条例の制定、イノシシやシカの食肉転用の可能



災害復旧現場の視察

性、粗大ごみのリユース・減量化、運動公園の美化事業、東部クリーンセンターの稼働期限と今後、山の家のリニューアルの方向性、通学路の安全対策の進捗等が出されました。

担当課からは「草刈条例の制定へ再検討する」「シカなどの食肉転用は頭数が少なく課題もある」「粗大ごみ減量へ協議している」「グリーンセンター問題では、有識者による委員会、ゴミ処理のあり方、処理の場所、広域処理の3点を協議している」等の答弁がありました。

午後から台風被害の復旧工事に入る町道白栢撰原線、白栢東谷の町道とともに、工事中の門前橋架け替え現場を視察しました。

一部事務組合・広域連合議会報告

相楽東部広域連合議会

教育委員会委員に大西研介氏を任命

3月6日定例会が笠置町議場で開かれ、第2次広域計画の策定、平成26年度予算、教育委員任命の同意案件等4議案が全会一致で可決されました。

平成26年度予算 7億2345万円
和東町負担分 2億7920万円

京都地方税機構広域連合議会

地方税機構第2次広域計画を策定

2月16日定例会が開かれ、広域計画の期間終了に伴う第2次広域計画の策定、平成26年度予算等5議案が可決されました。

平成26年度予算 21億2222万円
和東町負担分 500万円

京都府後期高齢者医療広域連合議会

欠員による監査委員・公平委員の選任

2月14日定例会が開かれ、平成26年度予算等6議案が可決され、監査委員に八幡市の北村治千代氏が公平委員に井手町の山本昭雄氏が選任されました。

平成26年度一般会計予算 24億3542万円
特別会計予算 3066億39万円
和東町負担分 6105万円

まちの
“元気”を
訪ねて

まちづくりの手助けに 立ち上がった若者たち「ゆうあんビレッジ」

今回は、和東町門前で設立された「ゆうあんビレッジ」を紹介します。

Q ゆうあんビレッジの名前の由来は。

A 自由庵（古民家の名称）であなたと共にまちづくり（You And Village）の意味です。

Q いつ頃設立されましたか。

A 平成25年4月20日。石井謙介、山下丈太、今西哲也の3名で設立しました。

Q 始めようとした動機は。

A 地域の力を集めて仲間と共にまちの再生を手伝いたいとの思いからです。

Q どのように事業を展開したいですか。

A ツアーやイベントで和東町に人を呼び込み交流人口を増やし、お茶や農産物等を販売したいです。自由庵で小中学生に英語も教えます。和東っ子バインガル（自由に日本語と英語が使える）計画進行中です。

Q どのように和東町の魅力を感じても



設立メンバーの3名

らっていますか。

A 農業体験や古民家の良さを

感じて和東を体験してもらっています。

Q 夢や目標はなんですか。

A 目標はイベントやツアーを通じて和東町を元気にし定住促進のお手伝いをしていきたいです。

Q プロジェクトをはじめて苦労したことは。

A 資金繰りが大変でした。今はまちづくりの補助金や雇用促進事業の補助事業を活用して取り組んでいます。

ゆうあんビレッジの問合せ先

和東町大字門前小字谷15
ゆうあんビレッジ 代表 石井 謙介
(0774-66-2930)
info@youandvillage.jp



一周年イベントでお茶の植樹

編集後記

さわやかな新緑の季節となり、お茶生産の最盛期を迎え町中がいまいきと活気に満ちています。

山なりに開墾されたお茶畑や薫風を受け茶葉が朝陽に光り輝く様子は、まさに日本で最も美しい村連合に加盟した町と言える風景です。

ご存じの方も多いと思いますが、「日本で最も美しい村連合」の看板が府道木津信楽線や宇治木屋線など主要道路に設置されました。

先月26日、JA茶市場で平成26年産荒茶の初市が開かれました。和東町から62点の新茶が入札され、手揉み保存会の手揉み茶がkgあたり14万円で取引されました。

和東町で生産される茶や米に、日本に54町村しかない「日本で最も美しい村」で生産された稀少農産物という新たな付加価値が付きましました。みんなで美しい景観を守り、誇れるまちづくりを進めましょ。

広報編集委員会

- 委員長 岩崎 宗雄
- 副委員長 岡田 泰正
- 委員 山口 勝己
- 委員 山内 きみ代
- 委員 竹内 幸
- 委員 籠島 孝幸

第2回定例会は、6月12日開催予定。傍聴にお越しく下さい。